

# 令和4年 飯田市教育委員会10月定例会会議録

令和4年10月18日（火） 午後3時20分開会

## 【出席委員】

教育長	熊谷 邦千加
教育長職務代理者	北澤 正光
教育委員	三浦 弥生
教育委員	上河内 陽子
教育委員	野澤 稔弘

## 【出席職員】

参与	松下 徹
学校教育課長	桑原 隆
学校教育専門幹	今井 栄浩
生涯学習・スポーツ課長	伊藤 弘
文化財保護活用課長	宮下 利彦
市公民館副館長	秦野 高彦
文化会館館長	下井 善彦
中央図書館長	瀧本 明子
美術博物館副館長兼歴史研究所副所長	牧内 功
学校教育課長補佐兼教育企画係長	代田 暢志
学校教育課長補佐兼総務係長	櫻井 英人

---

#### 日程第1 開 会

○教育長（熊谷邦千加） それでは時間になりましたので、令和4年10月定例会を始めます。よろしくお願ひいたします。

---

#### 日程第2 会期の決定

○教育長（熊谷邦千加） 日程第2、会期の決定。10月定例会の会期を本日1日とさせていただきますが、よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） お認めいただきありがとうございます。

---

#### 日程第3 会議録署名委員の指名

○教育長（熊谷邦千加） 日程第3、会議録署名委員の指名、会議録署名委員を三浦弥生教育委員さんをお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

◇教育委員（三浦弥生） はい、お願いします。

○教育長（熊谷邦千加） はい、よろしくお願ひいたします。

---

#### 日程第4 会議録の承認

○教育長（熊谷邦千加） 日程第4、会議録の承認、9月定例会の会議録をご確認ください。

何かご意見があればお願ひをいたします。

（「特にございません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。承認いただきました。

---

#### 日程第5 教育長報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、日程第5、教育長報告事項。

別紙をご覧いただきたいというふうに思います。土日中心に参加させていただいたものについて、ここに掲載をしておりますが、1番の「信州飯田60歳以上ソフトボール大会」というのは、地元の方が多いかと思ったら半分以上が近隣の岐阜県、あるいは愛知県というようなところからの参加で、またそういうところが強いということがよく分かりました。

そういった話の中で、「飯田市のスポーツ施設は、無料で使用できるグラウンドがあちこちにある」と、「それがうらやましい」という話を聞きました。無料でいろんなところが

使用しやすいついていうようなことで、「他県ではみんな有料で、場所を獲得するのが大変」  
っていうようなことをお聞きしました。

「芝生開き」につきましては、川路多目的グラウンドのところに残暑の中でこけら落としという形で飯田市の中学校のチーム等が試合をしてくださいました。まだまだ1年、2年、3年とかけると芝生の根の上に芝生がっていうふうにして、より良いグラウンドになっていくんだそうですが、市のサッカー協会の皆さんが中心に進めていただきました。

それから「損保ボールゲームフェスタ」というのがありまして、アースティックスイミングの青木 愛さんという、タレントとしても有名な方が参加されましたけれども、またプロのバスケットチームのシャンソンですかね。その選手であるお二人が進めていただいたんですが、その盛り上げ方、進め方が見事でありまして、その進め方もプロだなあと思って関心をしました。2年ぶりの開催とありますけれども、親子と一緒に手をつないだり触れ合いながら運動するっていうことがとても良いことだなあというふうに感じて見てまいりました。

それから、「観月の夕べ」というのが「かごこし子どもの森公園」でありまして、地元の女子校の箏曲部等の皆様や年配の方たちも和洋中の楽器を演奏されまして、見事な形で演奏しました。だんだんだんだん雲が晴れて十三夜の月が本当に美しく煌々と照らすとともに寒さもどンドン寒くなって、寒さとの戦いをしながら芸術を楽しんでまいりました。

それからつい先日ですけれども、春草公園の野点の茶会がありました。

それから新聞にも載っていましたが、教育委員会が行っている「IIDA ENGLISH DAY in 2022」というのを行って五・六年生が参加してもらったんですが、今年からちょっとやり方をALTの皆さんが中身を主体的に考えるという企画にしました。一人一人国も違えば経験も違うので、それぞれのところでゲームや英語を楽しむ、そういったものもつくって来て主体的にやっていただきました。

それからこれもまた南信州新聞に載っておりましたが、龍江の大宮八幡宮の秋季例祭で今田人形の奉納上演が行われて、和ろうそくの中で非常に煌々といい雰囲気の中で人形浄瑠璃を拝見いたしました。竜峡中の今田人形座は、何人もやってくれていたんですが、やっぱりコロナでなかなか練習できない中、数カ月の中で一生懸命見事な動き、そして歌いといいますか、そういったものを披露していただいて、「ああ、人形浄瑠璃もとっても素晴らしいなあ」っていうことを改めて感心して拝見をしてきました。

それぞれのところで伝統芸能を守ろうとして、いろんな工夫をしているところがあちこちにあるなということを感じてきた次第でありました。

私のほうからの報告は以上でございます。

何かご質問、ご意見あればですがよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

---

#### 日程第6 議案審議（1件）

○教育長（熊谷邦千加） 続まして日程第6、議案審議。

---

#### 議案第54号 令和4年度飯田市就学援助費支給対象者（要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金関係）の認定について

○教育長（熊谷邦千加） 議案第54号、「令和4年度飯田市就学援助費支給対象者の認定」につきまして。

桑原学校教育課長、お願いします。

◎学校教育課長（桑原 隆） それでは、議案第54号、4ページでございます。「令和4年度飯田市就学援助費支給対象者の認定について」でございます。

認定の対象者につきましては、別紙でご用意をさせていただいたとおりでございます。

記載をいたしました認定要件にてご認定をいただきますようご提案申し上げます。

よろしく願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ただいま説明がありました議案第54号につきまして、ご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

（「特にございません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

それでは議案第54号について、承認していただいたということでよろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） よろしく願いいたします。

---

#### 日程第7 協議事項

○教育長（熊谷邦千加） それでは日程第7、「協議事項」。

(1) 少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組について

○教育長（熊谷邦千加） （1）「少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組について」。

代田学校教育課長補佐。

◎学校教育課長補佐兼教育企画係長（代田暢志） 協議事項（1）少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組につきまして、今年度における今後の予定について説明させていただきます。

下半期のスケジュールにつきましては、9月の教育委員会で簡単にご説明をさせていただきましたが、今回は今後の取組という形でまとめさせていただきました。

1、あり方の進め方について。

協議・方向付けをいただいている取組研究会の本年度の第2回目の研究会を令和4年11月18日金曜日午後7時から市役所会議室で開催いたします。

第2回目の協議内容として、保護者アンケートの実施について、また、保護者アンケートの内容の確認とともに協議をいただく予定であります。

また、これからの学校づくりの方針案の決定に向けた諮問・答申機関であります審議会の設置について協議をいただく予定であります。この審議会の設置は、令和5年度を予定していますが、審議会設置要綱について、審議会の任務、審議会委員の組織、任期等の必要事項について協議いただく予定であります。

続いて2番、各学校の学校運営協議会においては、10月から12月にかけて第2回目の学校運営協議会が開催されておるところであります。特色ある学校づくりをテーマに意見交換が行われました。臨時の学校運営協議会で意見交換された内容の確認を行いまして、さらに意見、また提案等がありましたらお願いをしているところでもあります。

また、今学期中に実施する保護者へのアンケート調査について、学校運営協議会においても改めて依頼をさせていただいているところでもあります。

3番目の教育委員会情報誌「H a g u」の発行について。

少子化や施設の老朽化など、学校を取り巻く環境や子どもたちに及ぼす影響についての現状理解から始まり、子どもたちが主役となる学校づくり、コミュニティスクールや小中連携・一貫教育の特色を生かした学校づくりなど、検討を進める上での大切な関わり方、今後の検討の進め方、飯田らしいこれからの学校づくりについてどのような考え方が、また考えられるかについて、お伝えできればと計画しておるところであります。

前回、前々回の教育委員会定例会で協議・提案いただいた発行部数の関係、それから保

育園への丁寧な説明、アンケート調査のとの連携でリンク先を示した詳細な内容につきましては、それぞれ対応させていただいておるところです。

4番目のアンケート調査について。

当初予定どおりに令和4年11月末から12月に実施いたします。

アンケートの内容につきましては、先ほどの第2回の少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組の研究会、11月18日の開催予定で最終確認をいただきますが、PTAの連合の役員会、これにつきましては9月21日に開催しております。これらの役員会で、アンケートの素案についても内容確認をいただいているところでもあります。

アンケート調査につきましても、教育委員会の定例会で協議・提案いただいた集計結果を保護者の声としてどこにどう反映させられるのかの案内、それから多言語の対応、特色ある学校づくりの設問を増やして進めているところでもあります。

5番目の教育委員会研究チームにおける配置枠組みの研究につきましては、毎月定期的で開催し、研究課題の共有、先行事例の講演、県内の状況、学校種におけるメリット・デメリット、飯田らしいこれからの学校づくり等についての研究を進めており、この研究チームの成果として、第3回目の取組の研究会で、学校運営協議会で意見交換、それからアンケート調査の報告と併せて、飯田らしいこれからの学校づくりの方策について報告したいと考えておるところでございます。

資料No.1-2の6ページにつきましては、既にお示ししてございますが、あり方検討の目的、また進め方について、今年度から来年度にかけて取組につきまして、また資料No.1-3、8ページ目につきましては、前回の定例会でお示した下半期におけるスケジュールについて最新版に修正したものを参考資料として提示させていただきました。ご覧いただければと思います。

以上で説明を終了いたします。

よろしく願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま、説明がありました件につきまして、ご協議をいただきたいと思っております。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

◇教育委員（野澤稔弘） はい、質問をお願いします。

○教育長（熊谷邦千加） はい、野澤委員さん、お願いします。

◇教育委員（野澤稔弘） 我々の業界でも多品種少量って言うんですけど、じゃあどこから多品種でどこから少量なのって言われて何も実は具体的な数字はないんですね。

この少子化っていう問題は、確かに少なくなっているのは分かるんですが、どの辺りから問題じゃないかっていうのはそういうのは何かありますか。

どの辺りを超えたらこういう問題が顕著になるんだろうというような何か具体的な数字みたいなものはございますか。

○教育長（熊谷邦千加） はい、代田補佐。

◎学校教育課長補佐兼教育企画係長（代田暢志） 具体的な数字とは、令和 10 年度の今後の見込みとして 7,000 人を切るというふうに言われております。一番のピーク時で 1 万 1,000 人ということはありましたので、全体からするとかなり人数のということで、昔の私たちの時代とか、今から 30 年前からすると 3 割くらいの子どもたちが減っているというふうに考えていただくと分かりやすいのかなというふうに思うんですけど、あと、この少子化によってクラスの編成とかそういうところが大きな影響を与えますと思います。

そのときに一番いい人数はどれくらいかというのは非常に難しいところがあるんですけども、クラス編成できる規模がいいのかなというふうに私個人的には考えておるんですけども、それができなくなってくる単級のクラスでありますとか、またそれが進んで複式になってくると少子化ということを考えなくちゃいけない。その先を考えなきゃいけないのかなというふうにも思っております。

◇教育委員（野澤稔弘） そうすると単級っていうことは、学年 30 人ぐらいってこと。

◎学校教育課長補佐兼教育企画係長（代田暢志） そうですね。

一クラスでまとまるというよりも、クラス編成ができてというのがいいのかなというふうに思います。

◇教育委員（野澤稔弘） 複数のクラスがあるほうが望ましいよねって話ですね。

ちょっと分からないのでどういったところで少子化の問題点というのもあると思うんですけど、そういうものが顕著に現れてくるのはどの辺りなのかなというのは、まだちょっと分かりづらいところで、少子化、少子化は分かるんですけど、減るのも当たり前のように減っていつているのは分かるんですが、どこからがやっぱり本当に真剣にこれ取り組まなければ駄目だよって、見えてくるといいのかなって思ったんです。

○教育長（熊谷邦千加） はい、加えて説明いただけることありますか。

今井専門幹。

◎学校教育専門幹（今井栄浩） 学校の規模によって違ってきますが、例えば山間地の学校になってくると、2 学年で小学校であれば 16 名、例えば二年生と三年生で 16 名を切るようになると、複式学級になってしまいますし、中学校も 2 学年で 8 名を切ってしまうと複式学級

になってしまいますので、実際にそこら辺のところでも今もどうするかというような状況になっている学校も市内にはあります。それも1つの少子化といったときに基準になるかなと思います。

◇教育委員（野澤稔弘） ありがとうございます。

○教育長（熊谷邦千加） もう1つ併せて施設の老朽化ということも今回のあり方の研究には加わっています。50年以上たつものが半数近くになってくるといようなことも少子化と併せてですが、この検討の材料と言いますか、基本的な土台の部分になっています。

関連してありますでしょうか。

はい、上河内委員さん。

◇教育委員（上河内陽子） 保護者の立場からとしても、既に少子化で随分いろんなことが難しくなってきたという実感を結構みんなが持っているんだらうなあと思っています。

おそらくいろんなクラブ活動とかも、学校の中だけではやっていけないとか、そういった問題がいっぱいある中で、保護者もアンケートの必要性を理解しているぐらいになっているんじゃないかなと思っています。

今、野澤委員がおっしゃったように、実際どうなっているんだらうっていうのは、以前にプリントを保護者に配っていただいていたと思うんですが、そういったのをまたQRコードを用いてリンク先で詳細説明していただけるのかなあと。こういったことは私も前回のときをお願いして取り入れていただいているので、保護者にとっても分かりが良いのではないかなと思って見ておりました。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、何か説明はありますか。

◎学校教育課長補佐兼教育企画係長（代田暢志） 今、委員が言われたように、QRコードで令和4年の3月にお配りした保護者宛の概要版というものをリンク先に貼りまして、そちらのほうに、より詳しいものが載っておりますので、情報誌あとアンケートとかも、そういったものを見られるようにしたいと考えております。

○教育長（熊谷邦千加） そのほかの進め方につきまして、ご質問、ご意見ありましたらお願いします。

スケジュールの表なんかも載せてございます。

三浦委員さん。

◇教育委員（三浦弥生） ありがとうございます。

少子化というと、本当に子どもたちの人数っていうところに視点がいくわけですけど

も、やはり学校の老朽化、またはその地域のその学校の存続と、いろいろな問題がある中で、やはり子どもに目を向けたときに、子どもがその人数で学ぶ、そのときの体と心、社会への適用力といった役割を担っていくなど生きる力が、人数によってメリット・デメリット、こういったところが学べて、これでは学べない、多くてもまた学べる、学べないなど様々あります。そういった視点でもあり方を見ていく必要があるのかなって考えるところもあります。ですので、子どもの教育の適切な、ここで言うところの人数でしょうか、そういったものもあり方を見ているときの1つの視点にさせていただけたらなというところを思います。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

ほかよろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） このことについては随時お諮りしたり、報告したりしながら進めてまいりたいと思いますので、その折その折にお気づきの点、ご意見いただければと思います。ありがとうございました。

---

#### 日程第8 陳情審議

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして日程第8、陳情審議。陳情審議はございません。

---

#### 日程第9 その他

○教育長（熊谷邦千加） それでは、日程第9のその他にまいります。

---

##### （1）教育委員報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 「教育委員報告事項」。

それでは、お話できる準備のある方からいかがでしょうか。

では野澤委員からお願いいたします。

◇教育委員（野澤稔弘） 10月3日に滝澤主幹指導主事の帯同ということで行ってまいりました。

学校そのものは「非常に落ち着きを取り戻している」という話でありましたけれども、新任の先生でいろいろトラブルがあるような話もお伺いしましたので、ざっくりとお話できればなあというふうに思っています。

新任の先生お二人いらっしゃって、人数が多いクラスで面食らっているというような話を伺ったのと、もう一人の方はものすごく生真面目で、一人一人にきちっと真っ直ぐ向き

合っていかなきゃいけないっていうなんかそういう観念がすごく強くて、そういうところでちょっと苦しんでらっしゃるかなあという感じがありました。

また、今、事務職員さんが3名いらっしゃるんですが、今のその少子化の話ともつながるかもしれませんが、来年度くらいからまた一つクラスが減るということに伴って、事務職員さんが減員になってくると自校給食をしていたりするものですから、「かなりその辺のところが大変になります」という訴えをいただきました。また、一番事務職の年長の方が、ちょっと体調を崩されているようなことも伺いましたので、その辺も配慮しなければならない点が出てくるのかなあというふうにお見受けしました。

あとは、先だつての学校訪問で言ったとおりで、校長先生の支える力っていうのを全面に押し出して、学力だけではなくて、それを支える力がやっぱり日常から見直していくことが必要なんだよということを、一生懸命取り上げてやってみるところがすごく一つ一つ意識付けができてきているのかなあというところがありました。児童さんのいろんな行事への感想なんか非常にしっかりしたものが返ってきているなあと、その辺はすごくいい運営ができているんじゃないかなあというふうにお見受けいたしました。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

ほかの委員さんのほうでいかがでしょうか。

三浦委員さん、お願いします。

◇教育委員（三浦弥生） お願いいたします。

前回の定例会の折に上河内委員もおっしゃっていたことになりますけれども、9月に飯田市歴史研究所でされていた満蒙移民の研究集会、私も聴講をさせていただいております。

印象に残っているところ、胡桃澤盛元村長さんのことや豊丘村、以前河野村っていうんでしょうか、そちらのほうでたくさん満州移民を出したその村長さんのご息のお話、とっても心に残っています。

本当に責任の検証っていうところを、人ではなくて国民への教育の責任、そして判断できる情報がなかったという、そういうことへの責任ということで、やはり教育というもののあり方というところもとても考えさせられる、そういう内容でした。

当時の国の決定に「ノー」ということを学んでこなかったという教育背景といったところでは、本当にここで教育のことについていろいろ考えさせていただいているということ踏まえると、教育の本当、大切さといったものは平和を考える上でも大切なんだなあっていうことを身に染みて感じました。

そしてもう1つ、朝鮮史、中国史、日本史ではなく、ありのままの歴史を次の世代に伝えていくという、そんなお話も会の中のディスカッションの中にあっただかと思えます。そういう視点はすごく大切だなということを感じております。

満州移民体験者の話の中で、橋本珠子さんのお話があったんですけども、この方は今の私の職場の前任者ということで、看護職であと養護教員の養成にも携わってきた先生で、そんな身近な方がそんな体験をしていたのかということも驚きました。自宅に帰って家族に「こんな話を聞いたんだ」ということで話したら、うちの80になる母も「うちの私の伯母さんもそうだよ」ということで、「満蒙開拓に行ってこっちに戻ってきてから北海道に渡った」というような話もありまして、自分がいかにいままで見てこなかったのかなど、地域の歴史のそんなところにも考えさせられる内容でした。

そんな内容を学びまして、短大生と一緒に飯伊高校生若者平和人権多文化ゼミナールということで、短大生と一緒にそちら参加させていただきまして、満蒙開拓記念館に足を運ばせてもらいました。そこで短大生10名ほどが、松川高校の生徒さんの説明をいただいて、そこに参加している大学生の方も2人ばかりいたでしょうか、そのような方たちでワークショップのワークをさせていただきました。若者が若者と一緒に学ぶってことの大切さというのをちょっと私もまた認識したと言いますか、いつも同じところで同じ学びをしている若者が学ぶ。でも、ああいうところで、本当に若い同世代の人たちがいろんな分野から来た人若い子たちが学ぶといったところを見たときに、これって必要なことだなあとということをすごく私自身が勉強になったなあと思います。

私の職場のほうで、市から大学のあるまちづくりに関する、女子短大との懇談会ということで来ていただいて、これは信州大学の誘致の関係での「大学はどうあるべきでしょうか、この地域は」というようなお話合いでしたけれども、そこでもちょっと意見を言わせていたんですけどもですけども、やっぱり若い子たちが交流できる、そういった地域ってものがまず1つ必要だよなど。そういうところでやはりこの地域の教育にも目を向けさせる、そんな工夫をしながら、若者たちが自然に交流できる、そんなところにハード的なものもついてくるのかなど、そんなところを考えたということなんです。

教育委員させていただく中で、いろいろなことを勉強させていただいていると感じます。いつもありがとうございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい、では上河内委員さん。

◇教育委員（上河内陽子） 9月22日、滝澤主幹と学校訪問をしてきました。

先生方も子どもたちも仲良く、子どもたちは素直で明るく、そして先生方は本当、思い

をもって一生懸命子どもたちに向き合っている姿を見てきました。

教科を持っている先生はもちろんですが、裏方の先生方もたくさんいて、割と大きな規模なので、栄養教諭の先生や事務の先生、またリフトとって給食を運んでくださる先生とかいろんな先生のお話を聞くこともでき、活躍ぶりを知ることができました。

その日に驚いたことの1つに、栄養教諭の先生のお話で「学校給食の食塩の量を本当ここ数年減らしている」本当0点何グラムぐらいを一生懸命減らしていて、それを発表するんだそうですね、1年に一度とか。「そのためにも本当に一生懸命減らしている。何年か前よりは随分減ってきたんだ」ってということをお話されていました。そんなふう子どもたちの食を見てくださっているんだなと感動しましたし、長野県は割と長寿県でありますけども、減塩活動っていうの、昔から保健師さんがうんと頑張ってきたのがありましたが、今は本当に学校のそういった栄養の先生方も見てくださっていて、子どもたちにとっても将来にわたって宝となるような食環境、食育っていうものをしてくださっているなと思われしくなりました。

ただ、「やっぱり少子化の影響で学級数がどんどん減っている」と。そして「金管バンドと合唱のクラブ活動の維持が難しい」とのことでした。それで「先生方は、どうも一生懸命、一生懸命やったださる代わりにやっぱり残業時間も多い」と、「それが課題である」というふうに言っておられました。

不登校の子どもたちが多くて、全く顔を見たことがないという子どもさんもいるということでも胸を痛めていらっしゃいました。

そこでやはり先生方も細かく子どもたちのことを丁寧に見ていただく中で、効率良く校内で連絡が行き届くためにいろいろ工夫をされているようですが、1つお聞きしたのは、教科のある担任、担当の先生にはタブレットがあるんだけど、校長先生や教頭先生にはタブレットがないということで、タブレットを使って職員間でのやりとりっていうことがちょっとできない点が若干効率が悪いということで、そのためにその紙ベースのものをいろいろつくったりされる事務手続きがあって作業があるのかなというふうに見受けられました。そういった点の改善も検討できるといいのではないかと思います。

あともう1つ、別の話です。「城下町飯田と飯田藩」の特別展を美博に見にいきました。70代になる母と一緒に行きまして、「ああ、こんなふう飯田の街も昔は堀の殿様がいたんだ。ロマンがあるなあ」なんて大変充実した展示で楽しむことができました。

その中に新しい試みだと思うんですが、子どもたちに向けてか絵文字を使ったキャプションがありました。すごく難しいしっかりと大人向けに書かれたキャプションの隣に、ち

よっと小さめにその絵文字を使って「掘の殿様はこんなふうに言ってるよ」とかそういうのがあって、「ああ、すごい面白いな」と思いました。それは本当に一言だったりするので、「ああ、そうなんだ」って思ったけど、じゃあ本当は何を言ってるんだろうって疑問を持つのにちょうどいいような小ささというか、そういうのは子ども受けを対象にしていらっしやっただけかもしれないけれども、実は70代の市民であるうちの母も「ああ、これだと分かりがいいね。もっと知りたくなるね」って言っていました。そうやって気づききっかけになり、知りたいと思うきっかけにするのに面白い工夫があったなと感じました。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

では、北澤職務代理、お願いします。

◇教育長職務代理者（北澤正光） 9月26日に市の校長会がありました。そこでは、8月5日の総合教育会議の私たちの発言記録が事前配布されて、全部読んできていただいて、それを基に校長先生たちが読書と読解力のことと、キャリア教育のあり方について意見交換をされたという場面がありました。そちらにいる事務局の皆さんもそのときにもご参加いただいているので、報告事項にもならないのですけれど。

そんな中で出された意見として、読解力を付ける上で、「言葉は大切だと分かっている先生方、担任を増やすことがとても大事だ」「先生方同士でも読解力について議論することが必要じゃないか」というような意見ですとか、「読むことだけではなくて、表現に結びつけていくその過程で書くということを入れることが非常に思考を深める、そういうことにつながっていくのではないか」とか、「キャリア教育と結びつけて、言葉にいかに関わりを持たせるか、言葉とキャリア教育なんかの体験が両輪になるのではないか」といったような、そのほかいっぱい意見が出ました。実際、学校訪問したときも、多分そのときの校長先生方の意見交換に触発されていただけたかもしれないのですけれど、「図書館の環境を今、見直してもらって整えています」といったような学校がありました。こうしたことに具体的に繋がっているのかなと思ひまして、改めて言葉と体験というのは学校教育にとっては本当に一番の土台になる部分。そういうことについて、総合教育会議の内容をきっかけに、校長先生方に意見交換の場をもってもらったことは、とっても良かったと思います。

それから、校長先生方のことを考えると、日頃はどうしても事務的なという語弊がありますが、かなり事務的な学校運営に埋もれてしまうということもある中で、ときには本当に教育の根っこに座るような、またはあるべき姿を思い描いてみるような大事な時間になったのではないかと思います。今後も校長会等を企画されていくときに、毎回という

のはちょっと厳しいと思うのですが、折々にああいう時間を設定していただくことは、参加している私たちにとっても非常に新鮮というか、校長先生方のお一人お一人がどんな思いを持って学校で子どもたちに向かっていらっしゃるのかというようなことをお聞きするという意味でも、とってもいい時間だったと思うので、ぜひ今後、企画されているときにもそんなようなことをご配慮いただけるとありがたいと思っていました。

ただ、総合教育会議の発言を、校長先生方にも全部共有されると、ちょっと冷や汗が出てくる部分もありますが、でもありがたいことだと思います。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

貴重なご意見をたくさん報告いただきましたので、また今後にも生かしていきたいなあというように思います。

---

## （２）参与報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、日程第9のその他の（２）「参与報告事項」

◎参与（松下 徹） 特にございません。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

---

## （３）学校教育課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、「学校教育課関係報告事項」。

◎学校教育課長（桑原 隆） 特にございません。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

---

## （４）生涯学習・スポーツ課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （４）「生涯学習・スポーツ課関係報告事項」。

伊藤課長、お願いします。

◎生涯学習・スポーツ課長（伊藤 弘） 定例会の資料の9ページをご覧ください。

飯田市では、昨年から11月から1月の間、オフ期間を冬季ジブン・チャレンジ期間という名称で進めてきておりますが、9ページの資料は9月26日の校長会のときに配布をさせていただいた資料でございます。

昨年度中学校9校のうち4校で筑波大学のリモートでの授業を実施をしておりますが、今年度については、できれば学校の先生方の中でできるようにしていきたいという部分も

含めまして、実施校としては3番の対象にありますように、モデル研究実践校という形で募集をかけてやる部分と、(2)番にありますように、それ以外の中学校については、先生方を対象に研修会をしていくということで、現在まだモデル校、一応、締切り過ぎておりますが、今、専門幹を含めて相談をさせていただいておるということで、3校程度ということで今年は進めてまいりたいと思っております。

それで、本日お配りをさせていただいた飯田市の全市型スポーツスクールの別冊をご覧いただきたいと思っております。

ジブン・チャレンジ期間が始まるのに合わせまして、全市型の競技別スポーツスクールの競技団体のほうでいろいろ準備をさせていただいて、このチラシについては学校のほうに配布をしていきたいと思っております。

おめくりしていただいたところに、今度は文化系の講座というもので、昨年度も同じようなことを社会教育機関を含めてまとめておりますが、11月スタートということで、本日お配りをした資料を学校のほうに配布をしてみたいと思っておりますが、現在公民館や社会教育機関を含めて15の講座をご案内しております。文化系の部活動の地域移行ということ踏まえると、地域のいろんな活動の中に生徒も参加できる機会となるのかなあというふうに捉えておりますので、こんな形で進めてまいりますので、またご承知いただきたいと思っております。

以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

---

#### (5) 文化財保護活用課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） では(5)「文化財保護活用課関係報告事項」。

はい、宮下館長、お願いします。

◎文化財保護活用課長兼考古学博物館長（宮下利彦） 情報提供でございますが、報告します。

10月に入りまして、文化事業等も活発に開催されてきておりまして、私どもの自館でも11月6日には考古博物館周辺の文化財等を巡っていただくツアーですとか、昨年開催延期をしております伊那谷と自然と文化学び合い講座。これは城下町飯田につきまして、図書館、美博、歴史研究所、文化財保護活用課が連携をとりまして、担当者目線から基礎知識をご報告させていただく場を13日の日曜日に行う予定になっております。

また、市内各地区でも公民館を中心に文化事業行われておりまして、展示ですとか講座の実施というところでご支援しているという状況です。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

---

（6）公民館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、（6）「公民館関係報告事項」。

◎市公民館副館長（秦野高彦） 本日はございません。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

---

（7）文化会館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （7）「文化会館関係報告事項」。

下井館長。

◎文化会館館長（下井善彦） 本日チラシを2種類用意してございます。

まず、オレンジのほうですけれども、伊那谷文化芸術祭、11月の毎週日曜日の4日間の開催でございます。

今日、お手元に招待状を用意してございますので、また足を運んでいただければ幸いです。

それからもう1点が「コンサートア・ラ・カルト」、こちらは自主事業であります、クリスマスコンサートということで12月11日に予定されておりますので、よろしければ足を運んでいただければと思います。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

---

（8）図書館関係報告事業

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、（8）「図書館関係報告事項」。

瀧本館長、お願いします。

◎中央図書館長（瀧本明子） お願いします。

資料の一番最後の10ページをご覧ください。資料No.3でよむとす事業の報告及び予定ということで記載してございます。

報告としましては、昨年度に引き続きまして、県図書館で県公民館と共催で「県ナゾとき探偵団」を行っております。中学生から県に関する謎を出していただいて、それを大人の方と一緒に現地に行き、また図書館の資料を調べて県の文化祭で発表するという活動を

行っています。今年の謎については、こちらに記載の3点についてということで調べて現地へ行ったところです。

今後の予定ですけれども、最初に予定のところに書いてございます「飯田城まちあるき」については、別紙で緑色のご案内を先ほどお配りさせていただきました。

11月3日に行うものですが、こちらは高校生の読書推進の一環で行うものでございまして、10代限定と書いてありますけれども、高校生と10歳代の方を対象に行うものです。

資料のほうには「美博の学芸員解説による」というふうに記載をしておりますけれども、当初その予定でありましたが、ご都合が悪くなり、図書館の職員による解説となりました。飯田城内のまちあるきと美博の展示を見て、中央図書館の堀家の蔵書を紹介するという形で行います。このまちあるきを行った後に自分の紹介したい場所の写真を駅前図書館に貼って紹介するというふうに予定をしています。

それから今月27日から11月9日までは、全国の読書週間になっています。分館を中心に図書館や読書に親しんでいく計画を立てておりますので、こちらについてはまた資料をご覧くださいと思います。

また、最後に、長野県図書館大会ということで、書いてございます。申込みいただいた皆さんもありますけれども、29日に図書館大会の中で新井紀子先生の講演会、こちらにつきましては、まだ延長して受付をしておりますので、大勢の方にご参加いただきたいと思います。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

---

#### （9）美術博物館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （9）「美術博物館関係報告事項」。

牧内副館長。

◎美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） 11月の「びはくにゅーす」をご覧くださいと思います。

11月に予定しております美術博物館主催の事業を掲載しておりますので、またご覧いただければと思います。

本日、現在開催しております特別展「城下町飯田と飯田藩」の展示図録をお配りしましたのでご覧いただければと思いますし、また特別展をまだご覧になってないようでしたら、前回配布しました招待状でぜひご覧いただければと思います。

あわせて本日、11月20日からの現代の創造展の招待券を配布しましたので、こちらも地元作家約150人の作品を展示する展覧会でもありますけれども、こちらもぜひご覧いただければと思いますのでよろしく願いいたします。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

---

#### (10) 歴史研究所関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして(10)「歴史研究所関係報告事項」。

牧内副所長。

◎美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） それでは「歴研ニュース」の10月1日発行の120号をご覧いただければと思います。

表紙ですけれども、12月3日に開催しますワークショップ「山里社会における生業の多様化と個性の時代」でございますが、こちらは歴史研究所の顧問研究員であります東京外国語大学教授の吉田ゆり子さんが研究代表者となっております、このJSPSなんていうと分かりづらいですが、日本学術振興会から科学研究費の交付をされております「南信濃山里社会の文化的景観とその歴史的形成過程に関する基礎的研究」の研究課題の成果の報告の機会となっております。

この研究につきましては、研究分担者として歴史研究所の吉田所長以下、複数の研究員及び調査研究員が関わっております、歴史研究所と共同で研究課題としてきたことから歴史研究所が共催する形での開催となっておりますのでございます。

今回のワークショップは、主には遠山谷や清内路の集落形成を生んだ自然や人々の営みを歴史的に検討し、今日の下伊那地域の特性が形成された社会的背景について議論する機会としておりますので、時間がありましたらまたご覧いただくか、またオンラインで参加できますので、よろしく願いします。

あと、中の内容ですけれども、今年度の飯田下伊那の地域史研究に関する優れた作品に贈る飯田歴研賞の4作品の受賞者、内容と受賞者のコメント、エッセイ、所蔵資料、あとは裏面に移りましてアカデミア、地域史講座の案内を掲載しておりますので、またご覧いただければと思います。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

以上、報告事項につきましてご質問ご意見がありましたらお願いをいたします。

(「ありません」の声あり)

○教育長(熊谷邦千加) よろしいでしょうか。

はい、ありがとうございました。

---

(11) 今後の日程について

○教育長(熊谷邦千加) それでは(11)今後の日程について。

櫻井課長補佐、お願いします。

◎学校教育課長補佐兼総務係長(櫻井英人) それではレジュメ3ページをお願いいたします。

学校訪問につきまして、後半の5日間記載のとおりでございますのでよろしくお願いいたします。

それ以外のところにつきましては、今週21日、長野県市町村教育委員会研修総会が開催されます。10月28日には、飯田市教頭会が上郷公民館でございますので、職務代理はご出席をお願いします。11月2日には、平谷村において飯伊市町村教育委員会連絡協議会秋季研修が開催されます。

来月の定例会でございますが、11月15日火曜日となります。同じ日に飯田東中学校のりんご並木収穫を祝う会がありまして、招待状が来ておりますので、定例会の前に参列をお願いいたします。最後11月17日に飯田市校長会がございますので、こちらにも職務代理者のご出席をお願いいたします。

以上です。

○教育長(熊谷邦千加) はい、日程について何かご質問ございますか。

(発言する者なし)

○教育長(熊谷邦千加) はい。次回は、りんご並木で収穫を祝う会にご出席いただくということをお願いをいたします。

---

日程第10 閉会

○教育長(熊谷邦千加) それでは日程第10。

以上をもちまして、10月定例会を終了とさせていただきます。

ありがとうございました。

---

閉会 午後4時15分